

117. Khinchine の定理 = 就て

森本清吾 (物理學校)

Khinchine カラ先日 Über ein metrisches

Problem der additiven Zahlentheorie ト云
フ論文ヲモライマシタ。

雑誌名ハ、ハツキリシマセンが欄外 = МАТЕМАТИЧЕСКУЮ
СБОРНИК, Т. 40, No. 2. トアリマシタ。コノ中ニ次ノ
ヤウナ定理ガアリマシタ。

定理. 数列 φ ト次ノ数列

$$1, 2^2, 3^2, 4^2, \dots \quad (1)$$

トノ和数列ヲ ψ トスル。 φ ノ密度ガ α ヨリ小サクナケレバ ψ
ノ密度ハ $\alpha(1+\gamma\alpha(1-\alpha)^2)$ ヨリ小サクナイ。但シ γ ハ絶對
常數デアル。

コノデ数列トハ自然數ノ中カラソノ一部ヲ選ビ出シタ
數群ヲ云フノデ、同ジ數ガ二度表ハレテ來ルヤウナコトハ考
ヘテ居マセン。ソレ故小サイモノカラ順次大キイモノヘト並
ンデ居ルト思ツタ方がヨイデシヨウ。ニツ、数列 φ, φ' ノ和
数列トハ、 φ ノ數、 φ' ノ數及ビ φ ノ一數ト φ' ノ一數、和
デアルヤウナ數全体カラ成ル数列ヲ云ヒマスガ、コノトキ
モ勿論同一ノ數ハ一度レカ數ヘマセン。数列 φ ノ密度トハ
 α ヨリ小サイ $\varphi =$ 屬スル數ノ箇數ヲ $\varphi(n)$ トシタトキ

$$\varphi(n) \geq \alpha n$$

ガ常ニ成立スルヤウナ數 α ヲ云ヒマス。密度ガ α ヨリ小
サクナイニツノ数列ノ和数列ノ密度ハ α ヨリ大キイ或ル數
ヨリ小サクナイト云フ種類ノ定理ハ今マデ幾ツカ發表ナレテ
居ルソウデ Landau / Göttinger Nachrichten

1930, S. 269. = アル論文ナドソノ代表的ナモノダソウデ
 ス。上ノ定理ハ(1)ノ密度ガ0ダアルト云フコトカラシテ、
 コノ種ノ研究ダ一歩新シイ方面ニフミ出シタモノダト書イテ
 アリマス。コノ定理ノ証明ハ思ヒ、外面倒ダ而モソノ結果ハ
 思ヒノ外芳シクナイノデスガ、*Khinchine* モ之レヲ認メ
 テ居ルト見ヘ、セメテ $(1-\alpha)^2$ ノ2ヲトリタイ、コレハ可
 能ノヤウニ思ハレルガ未ダ出来ナイト書イテアリマス。ソコ
 ダ私ハコノ2ヲトツテ見タイト思フノデス。

コノ目的ノタメ次ノ語法ヲ用ヒマセウ。密度ト云フ意味
 ヲ擴張シテ $a \leq x \leq b$ ナル x 、由 φ = 属スル数ノ数ヲ
 $\varphi(a, b)$ トシ、コノ間ノ自然数ノ数ヲ $[a, b]$ トシタトキ
 $\frac{\varphi(a, b)}{[a, b]}$ ヲ (a, b) ニ於ケル φ ノ密度ト呼ビマセウ。ソ
 レカラ φ = 属スルニ数 m, n ノ間ニ φ = 属サナイ数ノミア
 ルトキ、コノ φ ノスキマ (m, n) ト呼ビマセウ。ソコダ
Khinchine ノ定理デ α ガ $\frac{1}{2}$ ノ場合ヲ考ヘマスト。 φ
 ノ密度ハ $\frac{1}{2} \left(1 + \frac{\gamma}{4}\right)$ ヨリ小サクナイコトニナリマス。之
 ヲ用ヒルコトニシマセウ。

茲デ証明スベキコトハ

N ヨリ大キクナイスベテ、 $n =$ 對シテ $\varphi(n) \geq \alpha n$ ($\alpha < \frac{1}{2}$)
 ナラバ $\psi(N) \geq \alpha \{1 + \gamma' \alpha(1-\alpha)\} N$ デアル。

ト云フコトダアリマス。 $\alpha \geq \frac{1}{2}$ ノトキハ $1-\alpha$ ハ0ニ
 近クナイカラソノ肩、2ハ向題ニナラナイノデス。

$(1, N)$ = 於ケル最モ大キイ (N = 近イコト) スキマヲ

(b_1, a_1+1) トシマス。 b_1 ヨリ大キクナイ自然数ヲ C_1 トシ $(C_1, a_1) =$ 於ケル φ ノ密度ヲ考ヘマセウ。 C_1 が b_1 トナレバコノ密度ハ $\frac{1}{2}$ ヨリ大キクナイコトハ明デスシ $(1, a_1) =$ 於テハ密度ハ $\frac{1}{2}$ ヨリ大キイノデスカラ C_1 ヲ適當ニトリコノ密度ガ $\frac{1}{2} =$ 等シイヤウニスルコトが出来マス。 $[(C_1, a_1) =$ 於ケル密度ガ $\frac{1}{2}$ ヨリ小キイトキハコノ間ノ φ ノ数ハ全部ノ自然数ノ半分ヨリ小キイノデアラルカラ、 φ ノ数ガ一ツ増シテモ半分ヨリ大キクナルコトハナイカテ、密度ガ $\frac{1}{2}$ ヨリ小キイトキト大キイトキトノ間ニ必ず $\frac{1}{2} =$ 等シイトキガアル]カヤウナ C_1 ノ中ニ一番大キイモノヲトリマセウ。但シコノトキ $C_1 - 1$ が $\varphi =$ 属テナイトキハ $(C_1 - 1, a_1) =$ 於ケル密度ハ $\frac{1}{2}$ ヨリ小キクナルカラ又 C_1 ヲ小キクシテ之レガ $\frac{1}{2} =$ 等シイヤウニスル。サウスルト $(C_1, a_1) =$ 於ケル φ ノ密度ハ $\frac{1}{2} =$ 等シク $C_1 - 1$ ハ $\varphi =$ 属シ C_1 ヨリ大キナ数 $d_1 =$ ツイテハ $(d_1, a_1) =$ 於ケル密度ガ $\frac{1}{2}$ ヨリ大キクナイヤウニ出来マス。サウスルト $(C_1, d_1 - 1) =$ 於ケル密度ハ $\frac{1}{2}$ ヨリ小キクナイ。次ニ C_1 ヨリ小キイ最大ノ $(C_1 =$ 近い意) スキマヲ $(b_2, a_2 + 1)$ トシ之レカラ上ノマウナ方法ヲ区間 (C_2, a_2) ヲ作りマス。之レヲ繰リカヘシテ行ツテ $(1, N)$ ノ中ノスキマヲ全部同様ノ性質ヲモツ区間 $(C_n, a_n) (C_{n-1}, a_{n-1}) \dots (C_1, a_1)$ ノデアホフコトが出来マス。

ソコデ区間 $(C_i, a_i) =$ 於ケル φ ノ密度ヲ考ヘマセウ。之レガタメニハ (C_i, a_i) ノ間ノ φ ノ数カラ $C_i - 1$ ヲ引イタ

列ヲ考ヘルト之レハ密度 $\frac{1}{2}$ ノ列ヲ作り之レト (1) ノ数トノ和数列 = $C_i - 1$ ヲ加ヘタモノガ $(C_i, a_i) =$ 於ケル $\psi =$ 含まレマス。 ($C_i - 1 \in \varphi =$ 属シマスカラ (1) ノ数 = $C_i - 1$ ヲ加ヘタ数 $\in \psi =$ 属シマス)。故 = $(C_i, a_i) =$ 於ケル ψ ノ密度ハ $\frac{1}{2} (1 + \frac{\gamma}{4})$ ヨリ大キイノデス。

サテ $\varphi(N) = \alpha' N$ ($\alpha' \geq \alpha$) トシマスト $(1, N) = \varphi =$ 属サナイ数ハ $(1 - \alpha') N$ 箇アルワケデス。コレ等ハ皆何レカノ (C_i, a_i) 内ニ、 γ 度ソノ半余ヅツ入ッテ居マス。シカル = $\psi =$ 於テハ (C_i, a_i) 内ニ之レ = 属サナイ数ハソノ $\frac{1}{2} (1 - \frac{\gamma}{4})$ ヨリ少クレカ入ッテ居ナイノデスカラ $(1, N)$ 間ニ $\psi =$ 属サナイ数ハ

$$(1 - \alpha') (1 - \frac{\gamma}{4}) N$$

箇ヨリ少クシカアリマセン。故 =

$$\begin{aligned} \varphi(N) &\geq \left\{ 1 - (1 - \alpha') (1 - \frac{\gamma}{4}) \right\} N \\ &= \left\{ \alpha' + \frac{\gamma}{4} (1 - \alpha') \right\} N \end{aligned}$$

($\frac{\gamma}{4} < 1$ デアルカラ)

$$\begin{aligned} &\geq \left\{ \alpha + \frac{\gamma}{4} (1 - \alpha) \right\} N \\ &\geq \left\{ \alpha + \frac{\gamma}{4} \alpha (1 - \alpha) \right\} N \end{aligned}$$

コレデ証明デキタワケデアリマス。

尚コレハ余余ノコトデスが上ノ証明ト同様ノ証明ハ $\alpha < \frac{1}{2}$ ノトキモ行フコトが出来マス。故 = $\alpha = \frac{1}{2}$ ノトキ *Khinchine* ノ定理が成立スルコトヲ假定スレバ他ノ α ニツイテハ上ノヤウニ証明デキルワケデアリマス。ソレ故

$\alpha = \frac{1}{2}$ / トキ *Khinchine* / 定理ガモット簡單ニ証明
デキルカ、又ハ γ / 値ヲ大キク (*Khinchine* / 論文デ
ハ $\gamma = \frac{1}{2} \times 10^{-8}$ ト云フトンデモナイ小サナ数デス) スルコ
トガ出来レバコノ証明法ハ更ニ有効ニナルヲケデス。

—— (四月一日受取) ——